

名古屋市立大学病院



病院長名	松川 則之
所在地	〒467-8602 愛知県名古屋市長区瑞穂町字川澄 1
交通案内	地下鉄：桜山駅下車 3 番出口 直結 市バス：「市立大学病院」または「市立大学病院」下車

□ 病院の特徴

当院は、病棟・中央診療棟、外来診療棟、喜谷記念がん治療センター（東棟）の各棟からなり、高度急性期病院・特定機能病院としての役割を果たすとともに、2026 年には、救急搬送の増加・災害発生時の災害医療活動への対応、救急科専門医不足に対する人材育成等を目的として、「救急災害医療センター」を開棟予定であり、さらなる機能拡充を図ります。

また、西部医療センター、東部医療センター、みどり市民病院、みらい光生病院の各医学部附属病院とも密に連携し、日本最大の病床数の大学病院群として医療を通じて社会貢献を实践するとともに、教育研究機関として優れた医療人の育成にも努めています。

□ 研修プログラムの特徴

名古屋市立大学産婦人科研修プログラム

産科婦人科専門医資格取得を目標に基幹施設及び連携施設をローテーションします。各々の施設の特徴を最大限に活用し世界の最先端の生殖（不育症・不妊症等）、周産期（ハイリスク妊娠・出生前診断等）、婦人科腫瘍（婦人科癌・婦人科内視鏡手術等）やウイメンズヘルスのスキルをバランス良く習得するコースです。周産期領域において硬膜外分娩（無痛分娩）は麻酔科医・助産師と連携し大学病院では東海地方トップレベルの症例数です。学会発表や論文作成の指導も充実しており、一般臨床からサブスペシャリティまで 6 年次以降のキャリアアップの“コンパス”になる名市大産科婦人科スーパーローテーションプログラムです。

<研修モデル>

1～2 年次の初期研修は名古屋市立大学病院初期臨床研修医プログラムが適応されます。プログラム 4（産科婦人科重点研修）は 3 年次以降の専攻医研修へのスムーズな移行に役立つ内容になっています。

臨床研修プログラム(例) (大学病院メインのパターン)		
3 年目（専攻医 1 年次）	周産期医療 6 か月（大学病院）	周産期・出生前診断 6 か月（大学病院）
4 年目（専攻医 2 年次）	婦人科腫瘍 6 か月（大学病院）	生殖医療（不妊症・不育症） 6 か月（大学病院）
5 年目（専攻医 3 年次）	婦人科内視鏡 6 か月 （東部医療センター）	地域医療 6 か月 （地域連携病院）

臨床研修プログラム(例) (市中病院メインのパターン)		
3 年目（専攻医 1 年次）	関連病院で産科・婦人科一般（連携施設）	
4 年目（専攻医 2 年次）	関連病院で産科・婦人科一般（連携施設）	
5 年目（専攻医 3 年次）	周産期・出生前診断、生殖医療 （大学病院）	婦人科腫瘍 （大学病院）

詳細は名古屋市立大学病院総合研修センターHP を参照

http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/kensyu-cu.dir/specialist_prg/dept.html



□ 主な連携施設

名古屋市立大学医学部附属西部医療センター、名古屋市立大学医学部附属東部医療センター、江南厚生病院、一宮市立市民病院、稲沢厚生病院、海南病院、知多厚生病院、豊川市民病院、蒲郡市民病院、いなべ総合病院 全 10 施設

□ メッセージ

産科婦人科教授 杉浦 真弓

産婦人科は女性を思春期から生涯に渡って診察する診療科です。自分たちで検査を行い、患者とともに治療を考え、手術を含めた治療を完遂します。女性がキャリアを維持するために妊娠年齢が年々遅くなり、不妊症、流産を繰り返す不育症が増加しています。月経困難症、不妊症の原因である子宮内膜症も増加しています。かつては出産が終了してから罹患していた子宮筋腫、子宮がんなどの治療に対して妊孕性温存を考慮しなければいけません。精神疾患、膠原病などの合併症妊娠も増加しています。AYA 世代のがん survivor のために卵子・精子の温存も必須となってきました。人生 100 年時代の長寿国である日本人女性が生き生きと過ごすために、折り返し地点の更年期以降の健康を守らなくてはなりません。



本学の不育症研究センターは文部科学省の共同研究拠点の認定を受けており、世界有数の研究施設です。着床前遺伝学的検査などの高度な医療も実施しています。出生数は減少の一途をたどり、出産はもはや当たり前のことではなくなっています。時代の変化を読み、対応すべき課題がわれわれ産婦人科にはたくさんあります。困難を乗り越えて出産を迎える喜びを患者とともに分かち合える、産婦人科はとても素敵な診療科です。

□ 募集要項

※名古屋市立大学病院で勤務する場合

・採用予定人数	数十人 ※全領域あわせた人数であり、領域別の詳細の人数は各プログラム責任者と相談の上決定
・給与／月額	357,900 円～436,200 円 （勤務区分・各診療科の外勤の状況により異なる）
・当直回数／月	4 回程度（診療科により異なる）
・当直料／回	24,000 円～34,000 円
・その他	年間有給休暇 20 日間、通勤手当、超過勤務手当、共済組合、厚生年金保険、雇用保険、労災保険等あり
・応募連絡先	担当者 管理課 医療人連携・育成支援係 専攻医募集担当 電話番号 052-858-7527 E メール s-kensyu@med.nagoya-cu.ac.jp